

・19/7/8 河村たかし名古屋市長定例記者会見 名古屋城部分

(名古屋市民オンブズマンによる半自動文字起こしアプリによる文字起こし)

記者：幹事社から、名古屋城天守閣の件で、これまでに大村知事が何回か発言をしていますが、特に県が文化庁との間に入るということについて、その後県とお話しされたんですか。と、あらためて受け止めを、発言全てについてお願いします。

市長：はい。まずは文化庁さんは、とにかくできる限り速やかにやるのでと。

いうことでねちゃんとやっていますから、ということでございますので、それを信じてまあ文化庁さんに言わせると要はこれだけ巨大なですね、東大寺大仏殿の場合、大きさは大きいみたいですが木造建築物復元のいう事なんで丁寧にだけは理解してくださいよといってらっしゃいますし私ども信じておりますので。

今までずっともう何遍も言いますが僕しかおらんのですよ。ずっと当初からこれ交渉しとんの。5、6年で文化庁も変わるのが早いんだわ、あれ本当に。ありまして、どんどん当然ちゃんと引き継ぎはやっておられますけれども、名古屋市もこんで全部代わったんじゃないの名古屋市も。6年前ずっと一貫して私もこんだけ重要なことだもんで。名古屋市民の夢が掛かっていますんで。この間今あの度名古屋城何とかセンターできる調査研究センターの所長さんが僕にいとたけど「河村さん夢を実現するんだで」なるほど夢を実現するんだでいろんな苦労があるんだということですね。そういうことでございます。

まあおっつけるというのがまず延ばすつもりはないってはっきり言っています。

グッドニュースが聞けるもんだということでこちらも誠実に対応させていただきます。

まあ知事殿のお話ですか。

ちょっとひどすぎるわなこれ。愛知城なんか作るつもりじゃないですかね。

名古屋城のはずなんです、名古屋市民の分厚い期待がありますし。

皆さんいろんな意見がありますけどね。やっぱりもの凄いやっぱり木造でちゃんと作ってちょうよという人多いですよ。特に名古屋人の心の中に。それと一応、政令指定都市制度がありましてね。一応、一応になってしまったがね

やっぱ名古屋城、ご意見言われるのはご自由かどうかはしれませんがやっぱり名古屋の人達の皆が希望に任せるわということですよ普通は。皆悲しむと思いますよ名古屋の人が。文化庁がきちっとノーと言ったならこれまた別ですが。

そんなもん言いつたらんのですから全然全然、どなたから聞かれたのか知りませんが。全然違います。ある程度これね早うやってもらうのは有難いと思いますけれども、しょうがないといえばしょうがないです。

何回も言っていますけれども、もう一つ大きい建物だということ。

もう一つ戦争で7つでしたかねあれ。空襲で壊れたの名古屋城、広島原爆、岡山、福山それから和歌山それから大垣もそうです。あって、みんなは全部復元にしないとこもあった

かもわからんけど、復元というか復元というのは正式に図面による場合を復元といいますけど。これちょっと違いますけど。

その一番一番最初がなんと国宝1号だった名古屋城になったという。一番でかい。だから、後のことがあるから丁寧にやらさせていただきますねというのが文化庁の意見なんであって、なんか、あの役所が市民の気持ちをなで斬りにするということと。やっぱ政令指定都市制度があるでよ名古屋やっぱ尊敬してもらいたいよ。やっぱり。知事は国王じゃないんだからほんとに。そう思いますよ私は。違う。名古屋市のシンボルでしょ。333年間もやはり大事にしてきたシンボルじゃ。心の。

記者：名古屋城の関連で第三専門調査会で日程調整は現状おこなわれていると思いますか。

市長：行われていると思いますけど。当局知つとるかしりませんけどわしのところにはなかなか具体的には上がってきませんね。

記者：それは文化庁から第三専門調査会の日程を調整していますということは市のほうで聞いていますか。

市長：しますから。そこにおるおっさんが議会で答えております。聞いておりましたけど。臨時の第三調査会を計画するというような話を聞いたけれども。そっから先は具体的には聞いておりません。

記者：先日の大村知事の会見で日程調整性なんかしていないから、市はほんとのことをいったらいいといわれてましたが。市としては調整はしていると

市長：そりゃ愛知城を造りたいんじゃないですか。愛知県城どうぞ、愛知県の県有地の上に造って下さい。エレベーターもつけられてね。あれ名古屋城ですから名古屋市民の夢が掛かっていますから皆。エレベーターの質問でないけど。

何遍も言ってますけど、歴史的建造物の復元という別個のジャンルなんです要は。木の文化というのはなくなるんです。

石と違って、ノートルダム寺院はNHKテレビで観るとわかりますけど。壁は残っていますわね。ちなみにあそこにはエレベーターはありませんよ。工事用のエレベーターから出火したといわれておまして。エレベーターはありません。やっぱりヨーロッパの石の文化って残るんですやっぱりパルテノン。あれだけ残っているじゃないですか。木の文化はまったくなくなります。名古屋城がいい例です。デスアピア。消滅。となるとの文化というのは終わったのかという問題。そこで400年前に徳川家康をまた加藤清正建設の社長。小堀遠州とかそういう中井正清という人たちが30万ぐらゐの人が来ている工事やったんでは

ないかと言われておりますけどね。ようけの人がなくなったと思いますよ。当時ですから石垣や木の工事そういう人たちは職人の魂ですね。

残していった人間の足跡も終わりかねこれ要はいや。物理的に木って消滅しますよ。

それともう一つ消滅せんでも木の文化というのは作れる、伊勢神宮や20年毎に春日大社もそうです。あれで終わりですかね。というそこら辺の考え方の違いはでかいですね。それは終わってないんですよ人の営み。

ただし要件がありまして、文化庁が要件が何遍もいいますけど的はどうかという一つは国宝級の建物がなくなったと。もう一つあった真上に作る。もう一つは柱とか梁とか材質とかというものを再現というような同じもので造るこの場合はこれはねオリジナルと、オリジナルなんです実は、名古屋城の天守はコンクリートありますけど。

実はそういう図面とかあるんですが本物のオリジナルってあるんですそこに。それを再現させる法律です。

エレベータでも例えば博物館とかね、そのぶんだったらいつでも喜んで造らせていただきます。これは素晴らしい世界一のエレベータ冷暖房完備の。そりゃ作りますよ当然。

真上に図面によってやる場合は、それはやっぱり過去の人の営みというのは千年まで伝えていくというのが今の人類の務めじゃないですかこれ。と思いますけどねわし。

エレベーター問題も発言されておるようですけど、エレベーターなんてことを盛んに言っとるのは悪いけど知らないって。なんかあれ11人乗り造ってくれなと言ってますけど、となると柱10本、梁30本とらんとならん、となると構造で持たんから鉄骨で造らんとならん、そうなど未来永劫。その400年前せつかく図面があるのにオリジナルといえるものに接する事はできませんよ。車いすの皆さんも、わしはそういうのまでバリアフリーとまで全然思わんけどね。そんな悲しい発想ってあるのかとね。

車いすの人もそうだけど、普通の上れる人も未来永劫接せれませんから。

そういうのってバリアフリーっていうの。そういうやつ。真逆じゃないかと思ますよこれ。そんな中で、いろんな工夫はしていこうってことで国際コンペ早ややらないかんとやっているのだけど、そういうことで工夫していくと。人力でもあがれますけどね。

人力でサポートして筋力サポートって今もの凄いのできてます。

そういうので上がっていくとコミュニケーションも取れるし、そういうのバリアフリーというのでないの。全然昔と違うものを造ってですね。それエレベーターで上がるのがバリアフリーですかほんとに。こんな悲しい残酷発想だと思うよこれ。違うんかね。

その辺のずっときわめて行くと結局一旦燃えたものをもう一回作ることはこれ。本物なんだろうかとそれとも、単なる新築建造物なんだろうかと。そこの考え方の違いでしょうねこれ。

演説しとったてしょうがないけど。。

しかし、日本は文化庁は奈良ドキュメントというところで、木の文化においては、一定の先ほどいいましたけれど要件があるけど、この場で作るとか材質とか要件がありますけれ

ども、オリジナル。その他いろんな要件も含めたオリジナルと考えてこうという日本の文化は木の文化はそう考えたんじゃないですか。ないじゃあないですけど、考えたんです。3

記者：名古屋城の大村さんの発言の関連なんですけど、文化庁の許可をあの時点で得られなかったということで。要は大村さんもうは目途とかっていう天守閣の建て替え自体も目途が立たなくなったと迷宮入りになったというふうなことおっしゃってていて、名古屋市はほんとうのことを言うべきでないかということをおっしゃっているんですが、その点についてはいかがでしょうか。

市長：知事こそ本当のこと言うべきです。何を言ってるんですか一体。誠実にやってきて、名古屋市民の夢が掛かっとなのよ。文化庁そんなこと言ってませんよ。ほんとに。無茶苦茶じゃないですか。愛知城にすり替えたんじゃないんですか。

怒りますよ市民の皆さんは。それか市長解任せにやいかんですね。市長解任せにやいかん。そんだけの権限をおもちになって、私はそんなこと言いませんよ。いろんなこと言いたいこといくらでもありますけど。のりを越えたようなことを言いませんよ。やっぱりそれぞれ権限や選挙で選ばれておりますんで。これは。同じ市のやってることを、ボロカスにめちやくちやにいいませんよ。本当のこと言っているのがどっちが本当のことをいっているか文化庁にどうか聞いてください。まあいかんそんなこと言ってわ。

記者：そうすると目途が立たなくなったということではない。

市長：ありませんよ。全然よ。なあ。ようけおるけど。

違いますよ、ちょっと待ってよ。待ってちょっと言いかたでないけど、僕にはその言葉通りですけど、できうる限り速やかにやりますからといっておられましたけど。

記者：それと関連して大村さんが木材調達して 100 億円ぐらいになっていると。それが全損になる可能性が出ていると。目途がたたないから。要は文化庁から許可が下りていない段階で見切り発車で設計進めて木材調達して、あたかも既成事実を作ろうとしているかのように急いでいるというふうに言って痛烈に批判されているんですがその点についてはいかがですか。

市長：議会も可決しておりますでちゃんと、可決した予算に基づいてわしの市長選もありますけど丁寧に説明してきましたけれど。

丁寧に説明してきましたし。そんな無茶苦茶やったんじゃないですよこれほんとにという事です。そんな人を泥棒呼ばわりするようなこといかんですよほんとに。名古屋市民が皆がっかりして怒るよそんなこと言うと。河村さん解任しやという話でしょそれは。名古屋

城ですから、国宝一号だった。寄付金で3億4000万近く集まっているようですが、この8割はほとんど本当の個人献金をじゃないですか、ちょっと聞きましたら、悪いけどコンクリートのお城の時、個人献金をようけ集めたいといいますけど、あれ名古屋タイムズの当時の記事が出てきましたけど県知事を会長にして桑原幹根さんをして系統的に集めるというふうな記事が出てきました自分の意思でなされた方もありますけど。会長は知事だったんです、あんときの桑原幹根さんだったですね。

記者：市会に関してなんですけれども名古屋市議会の一部の会派から文化庁の許可がないと進めるな、進めないでほしいという要望がでていますが、それに対しては市長としてはどう受け止められているんですか。

市長：まあせつかく要望いただいたんですから丁寧に考えますけど。まあ許可が出なかった時だぞと盛んに言っておられましたけど。そりゃ不許可になったらそりゃ、大変なことですよ当然許可になるということでもいままでもそういう話ですつと進めてきましたんで、なるでしょ。なるでしょう。そりゃ

記者：文化庁のほうから石垣の追加調査の要望が出ていると6月21日時点で伺ったのですがその調査の予定っていうのは。

市長：21日前ですか。

記者：前です。

市長：それはもう誠実にお答えしてあります。

記者：ちょっと工事をするというか調査をするという段取りがつかまりましたか

市長：そりゃ文化庁がOK出さないかんで、現状変更になりますんで。

記者：それはまだ出していない。調査のための現状変更許可まだしてない。

市長：全体の中で現状変更許可の中で新たに調査してくれということですけど。それはそれで全体に入るとるいう解釈かな。(市職員：全体に入っている分と別途出す分とありまして) 別途出すのある。(まだどちらも許可をいただいてません。申請をまだ出しておりません)

まあ丁寧にやっております。石垣についてはいろんな説があることはあるんですよ。

石垣は果たしてどうやってやったら調査がパーフェクトやっぱ難しいですけど、最善できる限り今までの調査の中で最高度って言うていいですよというふうに言っていました。

極端なこと言うとね、石一つあるんでしょ。見にいきゃいいがね、ひびのはいつているという石がありますこれ。あれが本当にどういう条件で壊れるのか。

これ、どういう圧力がどっかから加わったらほんとに壊れるのかということは、文化庁の石垣整備の手引きみたいな、これ何遍も読みましたけど。それによりますと、原則的には検査していけないと書いてあります。なぜかという壊れちゃうじゃないですか本当にやると。検査をやります。鉄骨だったらやっすぐ次の物入れりゃいいですけど。

石垣はやっぱり現物性が重要でしょう。

実際わからないようですね科学的に今んとこ。完全にわからんかどうかは知りませんが。石垣はとくに内部が違うしね組成が石の内部が。ということがあり何もしない方がええというのを原則とするという意見もあるんです。

ただし、外から見て中詰め石が外れているとかそういうわかるやつはそれはきちっとやる。それから、石垣が動いてるかどうかは定点観測きちっとやって、そういう場合はやっぱやり直さないかんなどという説もありますがね。

これ多分石垣に一番ストレスがかかったのは明治24年の濃尾地震のとき、それからもう一つはケーソンを入れたときに一番圧力がかかったんだろと思われています。

そのときからその石垣の動きというのはどういうものであったかと定点観測きちっとする。できる限りそれをやると。ということで今それをやるということでもあります。

いうことですので、できるうの限りのことをやらせていただいております。思いますよ私  
そう言ってもええよといいつてましたよ石垣やっつる実際積む社長が凄いや名古屋は。こんなことまでやったことありませんよここまでは。そう言ってもええかといつたらええよよといつてました。

記者：すいません、いろいろ大村知事が隣で発言されているんじゃないですか  
これはどういう狙いでおっしゃているんですか。

市長：そりゃ、市長より知事の上だと思ってるんじゃないか。王様だと思っておんでしょ。  
ほでしょ、それと本当に愛知県城を造りたいんじゃないですか。愛知県愛知県城を。

記者：市長はかつて大村さんと盟友関係にあったと思うんですけども。

市長：過去形か

記者：すいません。その辺今も話し合ったりこういう連絡取りする関係ではあったりする  
んですか。

市長：話したことはないかなあ、なんじゃい 5 つ星ホテル。あのことで電話をしましたけれど、こっちも努力するでよ一緒にやろうかということで電話した、それ以降は話したことないですわね。話すと疲れるしな。はよ解任していただいたほうがいいですよ。事実上解任ですよこれは。シンボルでこんなこと言ったら、はい。そうでしょ。政令指定都市制度を廃止すると。これでどうですか。

記者：5 つ星ホテル、最近いつ頃話されたんですか。

市長：この間じゃないですか、これひと月位前かな。新聞も出ましたよ。

記者：直接会われたりされたのですか。

市長：電話

記者：じゃまあお話はされるといことですか。

市長：いろんなどこで会うでね。こっちも疲れるけど。知らん間に部下になってしまったもんで。ほんとにひどいもんですわ。

記者：名古屋城のこととかなんかそこで話などされませんか。

市長：名古屋城のことはあんまり話しておらんかなあ。

記者：関連で、最初の質問で県が例えば文化庁の間に入るとかっていうのはあり得るんですか。

市長：あんまり、ご心配いただかないほうがいいんじゃないんですか。

記者：ないということですか。

市長：ないでしょう。やっぱ一応政令市でこんだけ丁寧な 5、6 年やっとするし、ややこしなるでしょう。

記者：市長、バリアフリーの関係でも要望受けたりしてますけどその関係で例えば障害者団体との間に県がはいるうる可能性はあるんですか

市長：どういう形式があるかしれんけど。

いろいろご発言されたりね。そりゃ別にご自由にという感じでしょうがそれは。だけどほど名古屋の考え方は変わりませんし名古屋の方がはるかに不自由な方にはいいですよ。木造復元で、国宝 1 号であった建物で図面も完璧に残っているものをですね。全部鉄骨造りのようにしてしまっただすねえらいことですよそうしたら。これ日本の文化とか伝統とか。あんまりええことないと思うな。ほんとに。名古屋市の考え方の方がはるかに優しいですし温かいです。不自由な人に対しても。